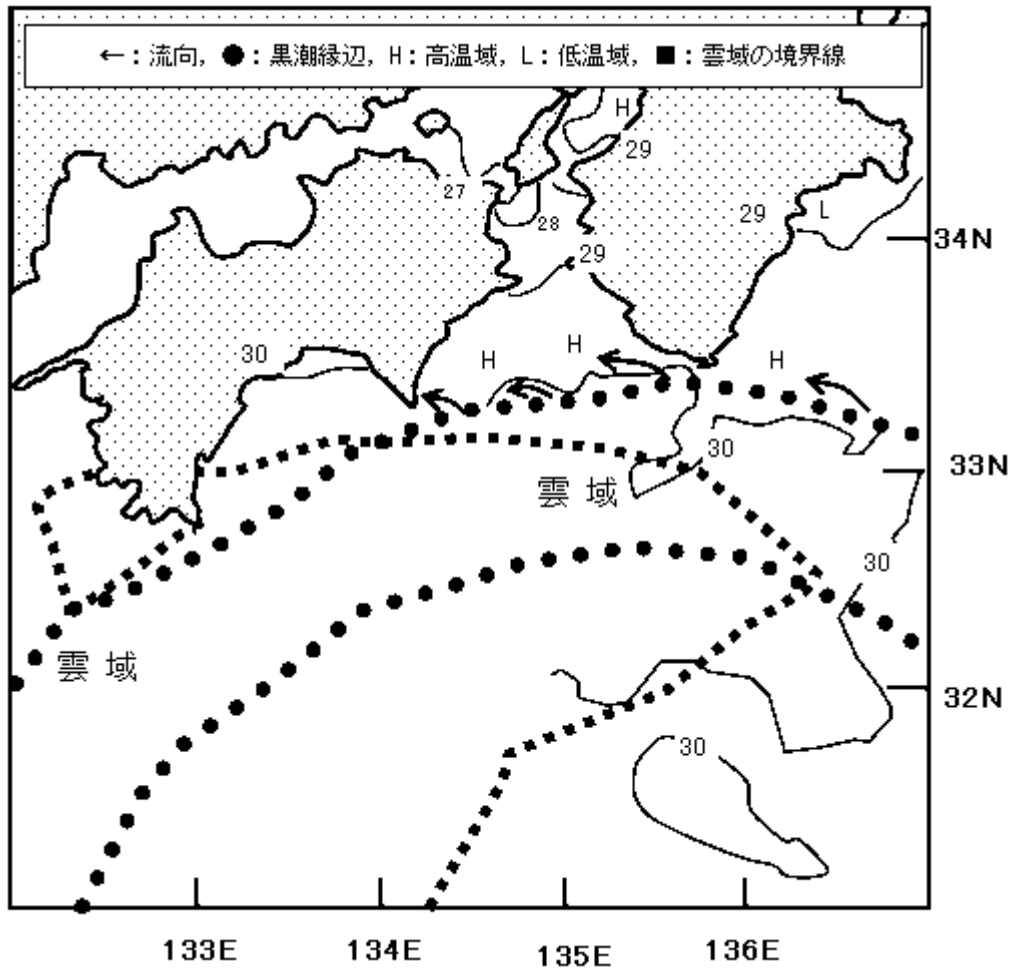


1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.8.19~20)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は30℃台である。

表面水温は播磨灘が26~28℃台で、紀伊水道内部は26~28℃台で、外域は28~30℃台である。

鳴門海峡に27℃台以下の低水温域がある。

潮岬沖の黒潮が接岸しているため、潮岬沖からの30℃台の黒潮系水が、紀伊水道外域へ流入しているが海部沿岸までは達していない。

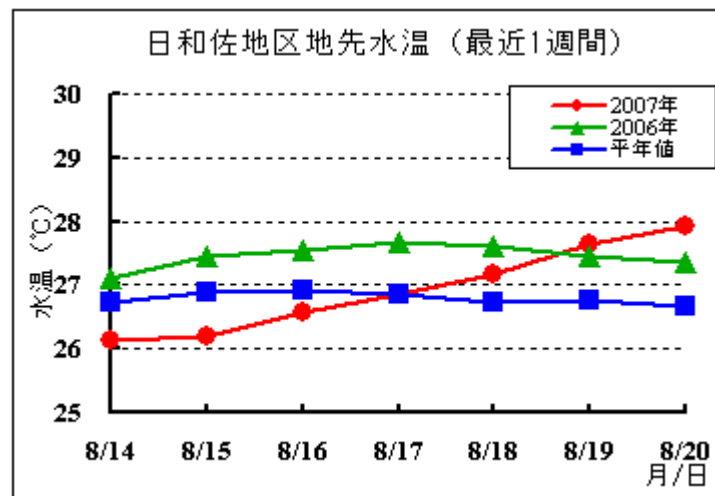
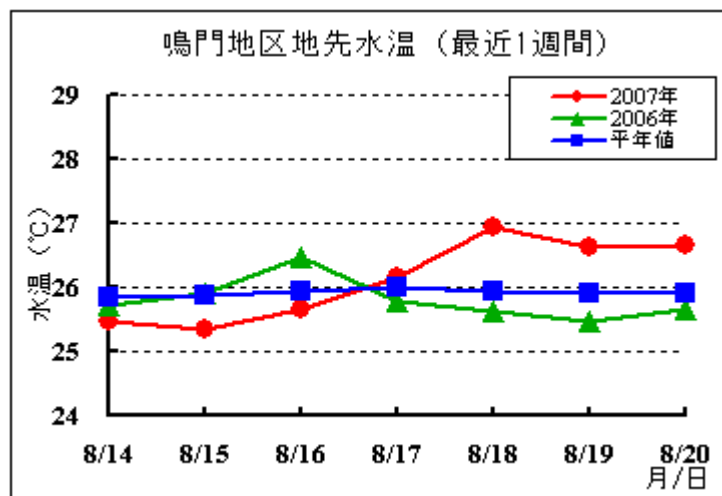
漁業調査船「とくしま」が8月6, 9, 17日に行った紀伊水道海区の海洋観測結果では、水温は0m~20m層では「やや低め」の23.5℃~25.3℃, 30m及び50m層では「平年並み」の23.1℃及び21.1℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/08/06, 09, 17)

| 水温 | 水深 | | | | | 塩分 | 水深 | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 表層 | 10m | 20m | 30m | 50m | | 表層 | 10m | 20m | 30m | 50m |
| 今年値 | 25.3 | 24.1 | 23.5 | 23.1 | 21.1 | 今年値 | 31.8 | 32.7 | 32.9 | 33.2 | 33.8 |
| 平年偏差 | -0.5 | -0.5 | -0.7 | -0.4 | 0.2 | 平年偏差 | 0.0 | 0.1 | -0.1 | -0.2 | -0.3 |
| 前年偏差 | -1.4 | -1.5 | -1.7 | -1.2 | -1.7 | 前年偏差 | 0.2 | 0.6 | 0.3 | 0.1 | -0.1 |

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」~「やや高め」の25.4~26.9℃で、日和佐地区が「やや低め」~「やや高め」の26.2~27.9℃で、牟岐地区は「やや低め」~「やや高め」の25.8~27.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

盆休み中は出漁しなかったため、期間中の漁獲量および出漁隻数は少なかった。

小型定置網:海部沿岸で、マアジが1.7トン(1日1隻あたり119kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にカツオが2.0トン(同251kg)、小主体にヨコワが1.1トン(同7kg)、大主体にマルソウダが0.7トン(同6kg)、大主体にキハダが0.3トン(同43kg)、紀伊水道で特大、大主体にタチウオが0.9トン(同22kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが90.8トン(同2.8トン)と、まとめて漁獲された。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)8月14日～8月20日 県下7漁協からの聞き取り

| 漁業種類 | 漁獲海域 | 魚種 | 延べ出漁隻数 | 漁獲量(kg) | 1日1隻当たり漁獲量(kg) | 銘柄・その他 |
|-------|------|-------|--------|---------|----------------|--------|
| 小型定置網 | 海部沿岸 | マアジ | 14 | 1,669 | 119 | マメ主体 |
| 釣り | | カツオ | 8 | 2,007 | 251 | 大主体 |
| | | ヨコワ | 160 | 1,087 | 7 | 小主体 |
| | | マルソウダ | 123 | 742 | 6 | 大主体 |
| | | キハダ | 8 | 347 | 43 | 大主体 |
| | 紀伊水道 | タチウオ | 41 | 889 | 22 | 特大、大主体 |
| パッチ網 | | シラス | 33 | 90,750 | 2,750 | |

週間予報:

室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の27～28℃、日和佐地先で「やや高め」の28～29℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが2.2トン(1日1隻あたり25kg)、タチウオが1.7トン(同19kg)、パッチ網でシラスが1.5トン(同96kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが4.9トン、マイワシが33.9トン、ウルメイワシが13.7トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上